

# さがえ未来創成戦略の進捗状況 (効果検証)

平成30年10月

さがえ未来創成戦略推進本部

# 戦略における数値目標

さがえ  
未来  
創成

【基本目標Ⅰ】魅力ある「しごと」の機会を創出し、社会動態の改善を目指す

【有効求人倍率/社会動態】

26年度	27年度	28年度	29年度	30年度(～9月)
1.05倍/-213	0.93倍/-74	1.02倍/-92	1.20倍/-18	1.23倍/+16

前年度比  
74人改善

【基本目標Ⅱ】地域資源を磨いて魅力を発信することで交流人口及び定住・移住人口増を図り、社会動態の改善を目指す

【観光客数】

26年度	27年度	28年度	29年度	30年度(～9月)
343.4万人	358.8万人	374.1万人	359.2万人	-

【基本目標Ⅲ】結婚・出産・子育てし未来へ希望を持てる施策を充実し、出生率・出生数を向上させ、自然動態の改善を目指す

【合計特殊出生率(暦年)/出生数】

26年度	27年度	28年度	29年度	30年度(～8月)
1.48/300人	1.70/325人	1.45/277人	-/287人	-/126人

5ヶ月実績

# I. 農業振興(さくらんぼ)

さがえ  
未来  
創成

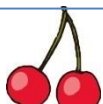
## 【さくらんぼ労働力確保】



- ・さくらんぼ箱詰め研修会 (28fy: 87人 + 29fy: 85人 + 30fy: 96人)
- ・さくらんぼボーナス (28fy: 675人 + 29fy: 1,029人 + 30fy: 1,283人)
- ・さくらんぼオーナー制 (28fy: 303人 + 29fy: 244人 + 30fy: 201人)
- ・学生ボランティア (山形・武蔵野大学(28fy: 25人)/山形大学(29fy: 15人30fy: 11人))

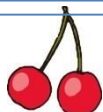
さくらんぼ労働力  
質・量・多様性の確保

## 【さくらんぼ生産体制強化】



- ・産地パワーアップ支援事業及び産地スピードアップ事業(スピードスプレーヤ等)
- ・さくらんぼ作業負担軽減安全確保事業  
(高所作業車及び乗用草刈機+さくらんぼ選果機(30fy~))

## 【紅秀峰販路開拓】



- ・大都市へのトップセールスを実施(29fy大阪から東京へ変更)
- ・マレーシア及び台湾に加えて29年度には香港への試験輸出を実施

JAや市等で構  
成される海外輸  
出促進協議会が  
実施

紅秀峰栽培面積: 27fy: 43.2ha ⇒ 28fy: 46.0ha ⇒ 29fy 50.1ha (31fy目標55.0ha)

輸出量: 28fyマレーシア400kg/台湾178kg

⇒ 30fyマレーシア390kg/台湾(紅秀峰)150kg/台湾(佐藤錦)20kg 3

# I. 農業振興(稲作)

さがえ  
未来  
創成

## 【つや姫の生産拡大及びブランド化】

・高級ブランド米「つや姫」の最高級品質を目指して結集したプロフェッショナル集団

⇒「つや姫ヴィラージュ」(村長:土屋喜久夫氏)

⇒つや姫ヴィラージュの拡大 ⇒ ブランド米の生産拡大へ

27fy: 39.6ha ⇒ 28fy: 46ha ⇒ 29fy: 44.9ha ⇒ 30fy9月末: 45.2ha(対27fy比+14.1%) ⇒ 目標  
(31fy) 80ha

## 【寒河江産米の販路開拓】

・銀座三越(山形つや姫の新米フェア)や大阪阪急など 大都市圏でのPR

・ふるさと納税を通じたプロモーション

⇒「清流寒河江川育ち」山形産はえぬき: 29年産2,300t

つや姫: 29年産100t



つや姫の里さがえのブランド確立と寒河江産米のブランド化

# I .農業振興(その他)

## 【伝統野菜の振興や地産地消の促進】

### ☆ 伝統野菜の生産組織活動

子姫芋 : 販路拡大(東京での商談会)や生産組合の生産設備(芋堀機)の整備を補助

谷沢梅 : 市内・市外における販促活動を支援(梅干しづくり講習会など)

### ☆ 地産地消の推進による地域内経済の循環

学校給食: 「さがえのごっつお給食」の実施、「葉山大根を使った美味しいレシピ集」の作成→葉山大根を使った食育事業を実施。

食育: 平成30年2月に木育・食育フェス(約1,700人)を開催



## 【新規就農者の確保/ 後継者への支援】

### ☆ 農業へ関心ある人へのアプローチ

①新・農業人フェア(28年度:3回、29年度3回)

②マイナビ就農FEST(30年度:2回)

☆ 就農体験ツアー・農業体験開催(28年度:2回、29年度2回、30年度2回)

☆ 就農者受入れ及び後継者支援体制づくり(農業委員会や認定農業者協議会等との連携)

☆ 新規就農者住宅支援・営農支援(29年度2名、30年度2名)

## 【農地の流動化の促進】

☆ 農用地利用集積の推進(28年度:398件106ha、29年度:270件70ha)

# Ⅱ. 企業支援・企業誘致



企業支援



企業誘致

平成29年9月策定

＜ふるさと名物応援宣言＞  
中小企業地域資源活用促進法に基づき「さくらんぼ&つや姫&ニットの里」として宣言



＜国・市の支援事業＞  
国と連携した「ふるさと名物応援補助」(2件)や寒河江市独自の販路開拓支援事業(5件)を実施

欧州などの海外を含む



＜雇用確保＞  
ハローワークと連携した就職相談会を開催  
※29fy: 4回/30fy: 1回/参加企業数: 延べ100社以上

東京でも開催



丁寧な情報提供

＜支援情報発信＞  
国と連携した施策説明会を開催/企業支援MLをスタート(29fy発信14回)

＜地域未来投資促進法(基本計画)＞  
目的: **地域経済牽引事業の促進**  
対象: **寒河江市**を含む県内  
支援内容: 課税などにおいて**特例措置あり**

＜平成29年度: **2.4ha分譲**＞  
・ぼんち(食品加工業)  
  
＜平成30年度上半期: **2.0ha分譲**＞  
・寒河江物流(運送業・倉庫業)

※中央工業団地未分譲地  
28fy: 17.4ha  
→29fy: 15.0ha  
→**30fy: 13.0ha (25%減)**

凡例  
分譲中  
分譲済  
公共施設  
公園・緑地

6

# Ⅲ.創業支援



## ➤ 広域創業支援スキーム

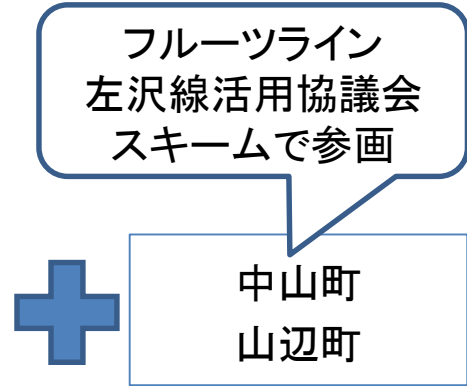
寒河江・西村山創業支援事業計画(平成27年10月策定)

寒河江市、河北町、西川町、朝日町

山形銀行  
荘内銀行  
きらやか銀行

山形中央信用組合  
山形信用金庫  
日本政策金融公庫

寒河江市商工会  
河北町商工会  
西川町商工会  
朝日町商工会



※大江町は単独で計画策定(セミナーなどは共催)

※関係機関による創業支援連絡調整会議を開催

・1市6町による広域創業セミナー(平成30年5月12日&19日&26日)

✓ 「7時間×3日」の**本格セミナー**

✓ **金融機関をゲスト招聘**し、「金融機関から見た創業」でアドバイス



※平成29年度1市4町創業セミナー実績:1回7名参加(10月開催)

・寒河江市単独事業となる**空き店舗等対策支援事業**(店舗改装及び家賃補助/8件)  
及び**起業・創業支援事業**(9件)

中心市街地  
空き店舗対策

# IV.観光振興(観光資源の発掘・整備/インバウンド対応)

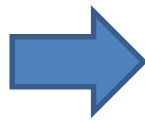


- ・市内の自然・歴史等を活かした**観光資源の発掘・整備**
- ・**外国人誘客(インバウンド対応)の推進**

## ➤ ガイダンス施設整備を含む**慈恩寺の観光拠点化**

- ・慈恩寺ガイダンス施設の基本設計
- ・慈恩寺宗教と仏像展のPR(宮城県名取市など)

平成28年度:  
旧境内保存活用計画策定



平成29年度:  
旧境内整備基本計画策定

## ➤ **葉山周辺の観光拠点化**

登山や自転車など  
グリーンツーリズム

- ・新たな葉山登山ルート of 整備(東京外国語大学スタディツアーとの連携)
- ・外国語対応葉山登山マップの作成(東京外国語大学との連携)
- ・寒河江(移住)体験ツアーでの葉山登山(山と溪谷社と連携)

## ➤ **インバウンド(外国人)対応**

県・庄内地域との  
連携

- ・観光パンフレットの多言語化 & 観光ボランティア向け研修の実施
- ・台湾への現地プロモーションの実施及び大型クルーズ船の誘致連携

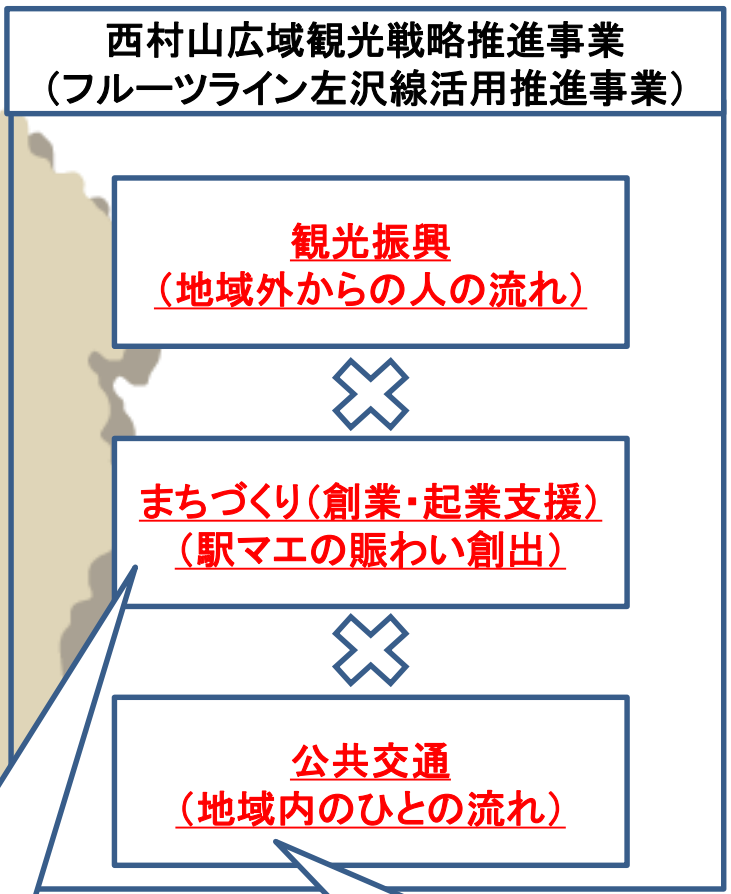


# IV.観光振興(広域観光)



- ・西村山1市4町等による**西村山DMO**が西村山広域観光戦略推進事業(**データ収集、マーケティング、人材育成、創業・起業支援等**)を実施
- ・「西村山DMO+α」として**フルーツライン左沢線活用推進事業**を展開

豊富な観光資源(自然、歴史、農産物)



山形新幹線山形駅から  
30分圏内

金融機関や商工会などの  
創業支援機関と連携

観光交流拠点の整備  
2次交通の確保

# IV.観光振興(集客イベント)



・数多くの観光イベントを通じ、**高いサービスを提供でき、収益性のある観光地域づくり**を行うことが必要

第4回(平30年度)  
2月1~3日開催予定

冬 やまがた雪フェスティバル  
⇒「道の駅フェス」や「木育・食育フェス」などのコラボイベントと連携して、観光客数が落ち込む**冬季の大型イベント**として定着(29fy:20.3万人/前年比1.2万人増)

春 スポーツ流鏝馬大会(28fy(第1回):9月開催⇒29/30fy(第2/3回):5月開催)  
⇒ **新たな観光資源発掘、つつじまつりやさくらんぼの祭典への誘客効果**

初夏 さくらんぼの祭典&さくらんぼスポーツ大会(ツールド、ウォーク、マラソン、トライアスロン、ストライダー、スケボー)&クラフトフェア(てとて市)&さがえのあそび&冷たい麺まつり

秋 寒河江まつりのリニューアル(MEAT de MEET、うまい!グルメフェス)  
⇒グルメイベントバージョンアップ  
⇒メインイベント(神輿の祭典、流鏝馬)に向けた**賑わい創出**

**イベントを通じた観光地域づくりを推進**

# I 及びIV.農業支援×観光振興(地方創生交付金/戦略的農産物)

さがえ  
未来  
創成

戦略①: さくらんぼ(紅秀峰)の販路拡大支援

戦略②: 訪日外国人の受入体制の整備

「さくらんぼ」と「りんご」を核とした  
広域連携プロジェクトとして認定  
(国の交付金あり)

朝日町と連携した戦略的農産物を核とした  
成長サイクルの確立  
(販路拡大⇒生産拡大+もぎとり観光)

## ①農業支援

- ・マレーシア及び台湾へのトップセールス等
- ・生産性向上に資する機械導入補助
- ・労働力確保対策事業(さくらんぼボーナス事業及びさくらんぼ箱詰め研修会開催等)
- ・紅秀峰苗木新植・改植支援

## ②観光振興

- ・外国人観光客向け観光ガイド育成
- ・さくらんぼの祭典でのインバウンド観光推進



# IV.観光振興(地方創生交付金/自転車活用まちづくり)

さがえ  
未来  
創成

戦略①: 新たな観光資源の発掘・整備、西村山などにおける広域観光の連携強化、訪日外国人の受入体制の整備、四季それぞれでの集客力あるイベントの開催及び戦略的な観光振興の実施

戦略②: 子ども・子育てインフラの充実化

県内広域連携プロジェクトとして認定(ハード整備を含む国の交付金活用)

上山市と連携した自転車を活用したまちづくり

①ストライダーエンジョイカップ寒河江さくらんぼステージの開催 (30fyは夏・秋2回)

⇒ 参加者数715人 (観戦3,000人規模/県外比率約60%)

②ストライダー体験教室の開催(2回:市内保育所・幼稚園)

③最上川ふるさと総合公園にストライダーを貸出

⇒ストライダー10台をワンコインレンタル

29fy貸出実績:546件

④シクロクロスUCILレースの誘致

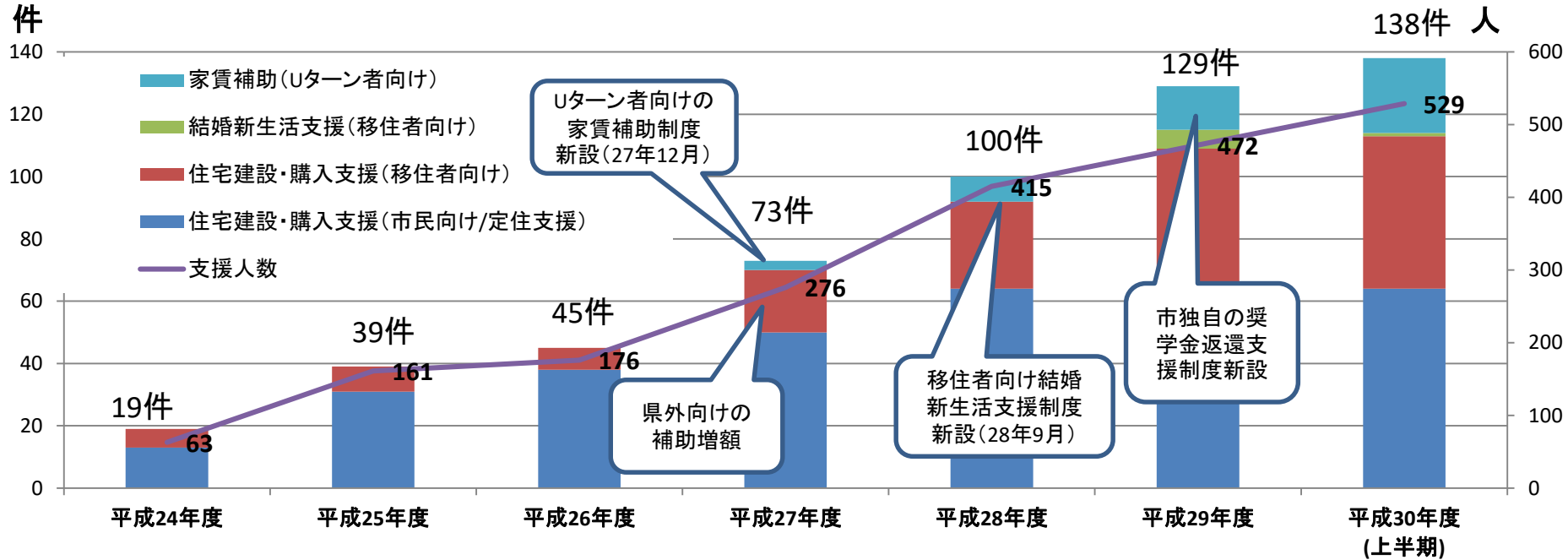
(30fyはグリバーにて10月開催)



# V.移住・定住支援(住宅支援等)



## 寒河江市における住宅支援実績



## 主な移住・定住支援

- ・ **ハローワーク寒河江との連携**: 企業ガイダンス(東京)の共催 等
- ・ 子育て定住住宅建築事業: **移住者・定住者向け住宅建築・購入の支援**(中古住宅購入含む/**子育て世代や移住者には手厚い支援**あり)
- ・ 定住促進賃貸住宅家賃助成事業: **Uターン者向けの家賃補助**
- ・ 奨学金返還支援事業: 県と連携した支援に加えて**市独自の若者夫婦向けの奨学金返還支援**
- ・ 結婚新生活支援事業: **結婚に伴う若者回帰を経済的に支援(市内への引越し対象)**

# V.移住・定住支援(魅力発信・ネットワーク構築等)



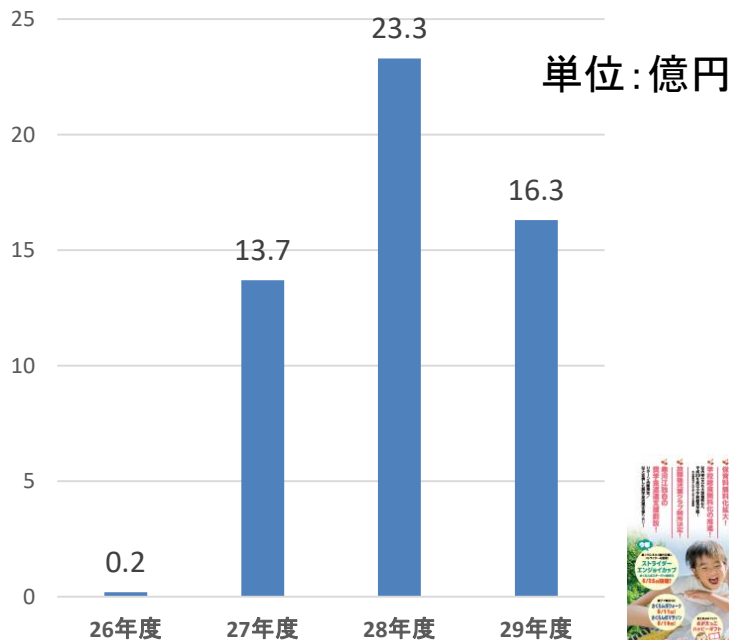
## 【ふるさと納税】

全国からの寄付を通じた寒河江市の  
プロモーションを実施

26fy:0.2億円(940件)

⇒29fy:16.3億円(75,000件)

寒河江市へのふるさと納税の状況



## 【ふるさと会(仙台寒河江会)】

・イベント開催(延べ214人参加)

※**会員数: 633人**(30年6月末)←382人(21年度)

## 【アウトドア派の移住推進】

・山と溪谷社との連携による

東京説明会(H30.9月参加者17名)

寒河江体験ツアー(H30.10月参加者6名)

## 【東京外国語大学との連携】

・相互協力協定に基づくスタディツアーの受入  
(H30.7月参加者16名)

## 【地域おこし協力隊による活動】

・平成25年度:1名⇒平成30年9月末:3名

※**中山間地担当、魅力発信担当、NPO支援担当**

## 【シティプロモーション】

・学校給食の無料化の推進、子育て住宅支援  
及び保育関連施設の整備など「子育て支援」と  
連携した「**寒河江は子育てに本気です！**」の  
**プロモーションを実施**

※県内外コミュニティー誌への掲載

28fy:15回/29fy:15回/30fy:6回(上半期)

・ホームページ「さがえ、心地。」でのPR

# VI.結婚支援



・「**結婚新生活支援 × 婚活コーディネーター制度 × 結婚支援活動団体補助**」による  
多様な結婚支援**(直接支援＋環境整備)**

## 【結婚新生活支援事業】

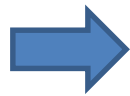
**経済的な理由で結婚に踏み出せない若者の回帰を支援**する制度(28年9月創設)

対象者:世帯所得340万円未満の婚姻した世帯(≒所得要件を300万円から拡大)

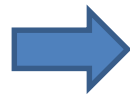
※「夫婦どちらも35歳以下」&「どちらかが転入者」の要件あり

対象費用:引越費用、賃貸の初期費用

支給額:最大30万円



29fy:11件支援



転入要件を設けることで、移住支援としても効果

## 【婚活コーディネーター制度】

定期の情報交換会を実施し、婚活を行う親のサポートや結婚を希望する**独身男女の仲介を行う**

<婚活コーディネーターの支援による市内での婚姻件数>

平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
3件	1件	8件	5件	2件

計19件の婚姻を支援

※寒河江市婚活コーディネーター登録数:21名

## 【結婚支援活動団体補助】

**婚活イベント等を開催する団体への補助**/イベント参加者数計30名

# VII. 出産・子育て支援



## 【妊娠から子育てまでの切れ目のないソフト支援】

- ・ 子育て世代包括支援センターの設置 (母子保健コーディネーターの配置)
- ・ 特定不妊治療費助成 + 一般不妊治療助成(人工授精のみ対象)を開始
- ・ 県内で先駆けとなる「産後ケア事業」や出産祝いの「さがえっこハッピーギフト事業」

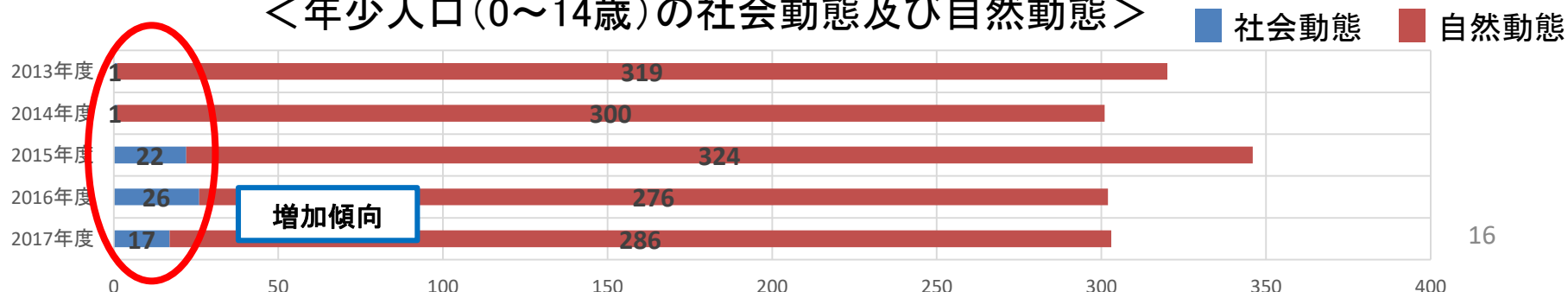
## 【子ども・子育てインフラの充実化】

- ・ 放課後児童クラブの整備 (28fy:2カ所、29fy:2カ所、30fy:1カ所)
- ・ キッズパーク整備事業開始(児童遊園遊具の整備:29fy10カ所)

## 【経済的支援】

- ・ 学校給食の無料化の推進 (小学校:半額助成 & 第3子実質無料化、中学校:一部助成)
- ・ 子ども向け予防接種の助成拡大  
⇒ ロタウイルス及びおたふくかぜの助成継続/インフルエンザ対象拡大継続
- ・ 第3子保育料無料化 (年齢制限撤廃継続)
- ・ 医療費無料化 の対象を高校3年生まで拡大 (H30.7月受診分～)

＜年少人口(0～14歳)の社会動態及び自然動態＞





## VIII.まちづくり

さがえ  
未来  
創成

都市づくりの方針を定めた都市計画マスタープランを見直し(平成29年3月)

### 【基本理念/主な取組】

- ・自然空間と調和した、誰もが親しみを持ち、憩いと安らぎを感じる都市空間づくり
- ・定住人口の確保や交流人口の増加に向けた取組み及び安全安心に住みよいまちづくり

### ・民間の活力を通じた住宅開発

⇒宅地開発補助28fy:4件/29fy:3件/30fy上半期2件

### ・空き家バンク及び空き店舗バンクの活用及び対策

⇒空き家のリフォーム支援(29fy:2件)及び空き家相談会開催(30fy:相談7件)

⇒空き店舗改装・家賃補助(29fy:8件、30fy:6件)、補助エリア拡大(30fy～)

### ・中心市街地の活性化(駅前等のイベント開催及びフローラSAGAE利活用)

⇒ちえり～マルシェ(全12回/延べ参加者7,100人)などの開催

⇒フローラ各階のコンテンツ充実(学習支援室の新設、文化交流広場など)

### ・公共交通ネットワークの拡充

⇒循環バスの本格運用(平成28年12月～)や西川町との連携(西川町営バス)

特色ある  
まちづくり

稼ぐまちづくり及び人が集うまちづくりの実現

# VII.まちづくり(地方創生交付金/地域資源を活用したまちづくり)

さがえ  
未来  
創成

戦略①: 人が集うまちづくりの観点から新たな視点でのまちづくりを推進

戦略②: 子ども・子育てインフラの充実化

第3回(平成30年度)  
開催予定(平成31年2月)

森林資源×農産物を活用したまちづくり

【木育・食育フェスの開催】

平成30年2月3日及び4日にチェリーナさがえで開催(参加者数:1,705人)

グッド・トイキャラバン(日本グッド・トイ委員会)を核に木育・食育イベントを開催

観光地域づくり

やまがた雪フェスティバルとのコラボ

⇒雪フェス会場近くのチェリーナさがえで開催

子育て環境整備

木育遊具の整備

⇒ニーズ調査を踏まえた遊具を保育園等に整備

産業振興

地元産農産物及び木材の振興

⇒子姫芋の粕汁ふるまいや  
木製遊具の販売・PRなど

山形県や山形県木材  
産業協同組合が協力



# Ⅷ.まちづくり(地方創生交付金/地域づくり(田代地区))

さがえ  
未来  
創成

戦略: **地域づくり支援を通じた地域の拠点化(廃校の利用など)**

## <地域づくりの拠点化>

**コミュニティビジネスを核とした新たな地域づくりの拠点として旧田代小学校を多目的交流館としてリノベーション**(平成30年4月~本格運営スタート)

⇒地域NPOによる地域外向けの「宿泊+レストランなどのコミュニティビジネス」

⇒地域内向けの「交流」

山形県と連携した地域  
づくりプロジェクトとして  
認定(国の交付金あり)

## <コミュニティビジネスを核とした新たな地域づくりのモデル>

**行政と連携した  
自立的な地域づくり**



**「自ら稼ぐ」  
コミュニティビジネス**

**集落機能の維持**

NPOがんばっています!  
H30,4~9月  
宿泊利用者822人  
たしろ亭(レストラン)利用者498人